

# 臨時災害FM放送局の活用について

令和5年3月15日（水）

文京区危機管理室防災課長 鈴木 大助

# 文京区のこれまでの取組

- ▶ 平成16年8月 文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会と協定を締結
- ▶ 平成29年10月 臨時災害FM放送用機器の購入
- ▶ 平成30年1月 東京ケーブルネットワーク株式会社と協定を締結  
区立中学校で臨時災害FM放送訓練を実施
- ▶ 令和2年2月 区立小学校で臨時災害FM放送訓練を実施
- ▶ 令和3年7月 文京シビックセンターで臨時災害FM放送訓練を実施
- ▶ 現在～ 放送大学FM跡地（77.1MHz）を利用する臨時災害放送局運用の検討

# 臨時災害FM放送訓練の内容

- 日時 令和3年7月11日（日）午前9時30分～11時00分
- 会場 文京シビックセンター25階展望ラウンジ
- 協力 文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会  
東京ケーブルネットワーク株式会社
- 内容 架空の区内被害状況やライフラインの状況、区の対応状況などについて放送



# 放送大学 FM跡地活用のメリット

- ① 情報伝達手段の多様化（きめ細かい周知が可能）
- ② 災害発生後 1 週間→災害発生後速やかに運用開始
- ③ 区民への周波数の事前周知が可能